

平成27年度「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」受賞者

《内閣総理大臣表彰 2件》

	区分	受賞者	活動内容	推薦団体
1	団体	秋田県立大曲養護 学校 絆プロジェクト	平成4年の開校以来、小学部から高等部児童生徒全員が、地域において七夕花火大会、地域クリーンアップ、除雪ボランティア等様々な地域貢献活動を展開している。地域行事での太鼓演奏は年々依頼が増え知名度も高い。これら活動で生徒の心身の成長も促され、“働く力”が向上するほか、高齢化が進む中、地域活性化の担い手として大いに期待されている。	秋田県
2	団体	犬山新成人の集い実 行委員会	平成13年より、市主催の成人式に替わり、新成人自らが企画・運営する会費制の「新成人の集い」を開催している。「集い」への新成人の出席率は8割に上り、マナー問題もない。その他、社会人として地域に貢献したいとの思いから、児童の登下校見守り・あいさつ運動や祭礼・名所の清掃、東日本大震災募金等に取り組んでおり、その活動が評価され、新しい若者代表として公的各種委員に委嘱されている。	愛知県

平成27年度「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」受賞者

《内閣府特命担当大臣表彰 8件》

	区分	受賞者	活動内容	推薦団体
1	団体	旭川大学柔道部「子供見守り隊」	自治体、警察、自治会等と連携し、児童の登下校時に見守り活動を展開している。地域に定着し、小学生からのお礼の手紙が届いているほか、自治体・警察等から表彰されるなど地域の評価も高い。年齢的に若い大学生が見守り活動をしていることから、子供たちの親近感も増し、コミュニケーションも図られており、地域に大きな安心と信頼を与え続けている。	北海道
2	団体	江別市青少年サークル	昭和43年より、市内在住の高校・専門学校・大学生等の若者を中心として、小中学生を対象に各種行事を企画している。教育委員会と連携したキャンプ・イベントのほか、自治会からの夏祭り・盆踊り等への協力要請は年間20件以上にも及び、子供たちのロールモデルとなる“お兄さん、お姉さん”として欠かせない存在となっている。	北海道
3	団体	OAA学生ボランティアグループ	大学生を中心に、子供を対象とした「田舎生活体験キャンプ」「里山ファミリーキャンプ」等子供の生きる力やふるさと意識の醸成を目指した活動を展開している。「キャンパーズ・ファースト」として参加する子供を第一に考える企画運営は好評で、子供や保護者から高い評価を得ている。	兵庫県
4	団体	徳島県立池田高等学校定時制課程「池定・地域まもり隊」	夜間活動が可能である利点を生かし、警察と連携した夜間防犯パトロールや振り込め詐欺の注意喚起、市と連携した防災ハザードマップ作成など、生徒全員が様々な活動を展開している。定時制高校が地域と連携しながら活動する事例は少なく、県外教育関係者の研究会でも取り上げられるなど評価も高い。	徳島県
5	団体	愛媛県立八幡浜高等学校商業研究部A★KIND	地域のイベントや福祉事業で企画・運営、出店を行い、八幡浜港みなとまちづくり協議会の一員としてフェリー乗船客に大漁旗を振る「お見送り」や、全国有数のみかん生産量を誇るみかんをPRする「みかん検定」の創設などユニークな取組を展開しており、地域の活性化に大きく貢献している。	愛媛県
6	団体	ちょぼらクラブ	中学生を主体として、環境保全フォーラムの開催やSNSによるいじめ被害問題をテーマとした寸劇を公演しているほか、地元の青少年や高校生ボランティアグループとも連携した清掃活動やイベントを行っている。過去に同団体で活動した社会人が地域活動に参加するなど地域人材の育成の起点ともなっている。	大分県
7	団体	日吉子どもサミット	小中学校の児童会・生徒会が連携して、アルミ缶回収によるユニセフ募金や清掃活動、びわ湖への稚魚放流等の活動を継続している。また、市長・市議会議員・教育委員も出席する地域住民を交えた会議において、地域課題について話し合うなど、将来の地域を担う人材養成という観点でも意義が大きい。	日本善行会

	区分	受賞者	活動内容	推薦団体
8	個人	細野 里奈(28歳)	スポーツ活動及びスポーツ少年団活動を長年にわたり継続し、地域における子供達のスポーツ活動を支援するとともに、都内373団約1万人を超える東京都少年団リーダー会会長の経験を生かし、都スポーツ少年団指導者協議会運営委員として若手リーダーの養成に貢献している。	東京都

平成27年度「子供と家族・若者応援団表彰」受賞者

《内閣総理大臣表彰 5件》

部門	区分	受賞者	活動内容	推薦団体
子供・若者 育成支援	団体	特定非営利活動法人 人性暴力救援センター・大阪SACHICO	全国初となる病院拠点型性暴力被害者ワンストップ支援センターを運営している。設置から5年間で2万件を超える電話相談に対応し、来所相談の延べ件数は約3千件、来所の実人数は千人を超えている。子供や若者の性被害も多く、府警察や児童相談所とも連携して、心とからだの回復に向け、大きく貢献している。	大阪府
	団体	CLUB ATTRACTION	自然体験やスポーツ活動等を通じて、子供たちや若者の成長を支援している。特に“繋がる”をテーマに、大阪・京都・滋賀の公園で「あおぞらきょうしつ」を展開して「集団遊び」を提供しており、年間で延べ約1万人の子供が参加している。また、滋賀県内の自治会と連携し、耕作放棄地を活用した農作業体験を実施。多世代交流の促進、地域活性化にも取り組んでいる。	京都市
子育て・ 家族支援	企業	株式会社エス・アイ	同一労働同一賃金を軸として、自由出勤制度、時間給制、エイジフリー制度により、若者、子育て世代、介護世代、障害者や高齢者など多様な人材が無理なく働ける就業環境を構築し、社員のワーク・ライフ・バランスの向上に寄与している。生産性向上や労務コスト削減にもつながり、雇用と経営の好循環を確立している。	兵庫県
	団体	特定非営利活動法人 くすくす	子育て支援施設「大垣市子育て交流プラザ」の管理運営の他、子育て支援者への支援など、幅広い活動を実施している。同プラザは、大垣市の中心市街地の空き店舗に設置され、地元商店街活性化にも貢献。「孫育てサロン」の開催や、全国初となる「孫育てガイドブック」の発行など社会のニーズに合った活動や、企業向け育児復帰者研修での講師派遣など女性の活躍に向けた取組も推進している。	岐阜県
	団体	萩原北醫院	院内託児室を設置し、職員の出産・育児の支援を行うほか、地元企業や地域の子供も受け入れて、職員が安心して働けることはもとより、地域の子育て支援にも貢献。職員には、通常の年次有給休暇に加え、月2日の特別有給休暇を付与している。また、地元中学生の体験学習を実施し、子育ての楽しさなども指導している。	岐阜県

平成27年度「子供と家族・若者応援団表彰」受賞者

《内閣府特命担当大臣表彰 15件》「子供・若者育成支援部門」

	区分	受賞者	活動内容	推薦団体
1	団体	花巻市早起きマラソン推進運営委員会	小中学校や自治体、市民が連携して青少年健全育成と市民の健康増進を目的に早起きマラソンを昭和52年から実践している。初年度からの参加者数は延べ760万人を超え、子供の早寝早起きの生活習慣の涵養や体力作り、住民同士の交流にも貢献している。	岩手県
2	団体	外国人の子ども・サポートの会	来日直後の外国人生徒とその家族に対し、きめ細やかな日本語や教科の学習指導を行っている。また円滑に編学できるよう、教育委員会・学校への随伴支援も行い、大学進学を果たした外国人生徒が後輩の支援に回るなど好事例も登場している。	宮城県
3	団体	特定非営利活動法人街のひろば	長年、外国人児童生徒を中心に学習支援を続けている。近年は自治体や地域住民・近隣大学生等と連携し、生活保護家庭・ひとり親等生活困窮家庭の児童に対象を広げ、学習支援や居場所の提供のほか福祉専門職による家族の生活相談等にも取り組んでいる。	埼玉県
4	団体	佐倉市食生活改善推進協議会	生活習慣病の早期予防や健全な食習慣定着を目的に、小学校の生活科授業での食育出前講座や、保育園・公民館での子育て世代向け「手作りおやつ作り方」講座などの草の根的食育に尽力し、市民の多世代交流や健康増進に貢献している。	千葉県
5	団体	特定非営利活動法人東京少年少女センター	小・中・高・大学生が自主的に小集団を編成し、異年齢の子供同士による集団遊びや自然体験に取り組んでいる。長い活動歴の中で育った青年が地元に着し、その子供が参加するなど好循環を生んでいるほか、主要都市にある「少年少女センター」の中心団体として先駆的な存在となっている。	東京都
6	団体	朝日大学防犯ボランティア団体「めぐる」	大学研究室の教員・学生を中心に、中高生や地域住民の防犯団体と連携し、地域の防犯マップづくりや巡回パトロール、振り込め詐欺防止の広報やサイバー防犯パトロールに取り組んでいるほか、警察と連携し、農作業体験等を通じた非行少年の立ち直り支援にも協力している。	岐阜県
7	団体	ネイチャークラブ東海	自治体や学生サークルと連携し、主に幼児から児童を対象として東海地方の山間地において年間300回(延べ1万人)の環境教育・自然体験プログラム「田んぼの楽校」「森の幼稚園」を開講している。参加家族の中から開催地である山間地への移住事例も見られるなど地方活性化にも貢献している。	愛知県

	区分	受賞者	活動内容	推薦団体
8	団体	認定特定非営利活動法人コムサロン21	ニート・ひきこもり状態の若者の社会復帰のため、個別的できめ細やかな就労相談やボランティア体験や職業体験の提供等を行う一方、商店街や観光関係の事業所とも連携し、若者の就労マッチングに取り組んでいる。また地元でコミュニティ・ビジネスを目指す若者の起業支援も行っている。	兵庫県
9	団体	特定非営利活動法人広島県就労支援事業者機構	犯罪・非行のあった若者の再犯防止に資する就労支援を目的として、法務省・広島県と連携し、協力する事業主の新規開拓に努め、平成22年設立時の協力会員は68社から444社に拡大している。また、正規雇用の前に5日間の就労体験セミナーを開催するなど早期離職の防止にも尽力している。	広島県
10	団体	特定非営利活動法人ITサポートさが	青少年が安全・安心にインターネットを利活用できる社会の実現のため、学校等で寸劇・講話等を行っているほか、自治体・企業と連携したポスターコンクール開催を通じ、青少年の情報モラル向上に向けた啓発活動を推進している。	佐賀県
11	団体	星の会(不登校を考える親の会)	不登校児の親支援として、親の気持ちを聴く「例会」を21年にわたり600回以上開催し(参加者延べ5千人超)、孤立しがちな当事者家族の支援と一般市民の理解促進に寄与している。自治体・学校・専門機関と連携してシンポジウムを開催するなど、県下で中心的役割を担っている。	大分県
12	団体	京都市住吉児童館紙芝居ボランティアの会	毎月1回児童館において、子供やその家族を対象に、郷土の民話やお正月行事等を題材とした紙芝居を上演している。また、紙芝居で紹介した京都独自の「お雑煮」を実際に試食してもらうなど体験型紙芝居を通じて、年配者と子供・子育て世代の交流にも貢献している。	京都市
13	個人	大村 千恵(65歳)	廃署となった消防署を改装し、平成11年に居場所スペース『ホワイトキャンパス』を設立。「子供の居場所」事業の先駆者として、「主役は子供、大人は黒子」を原則に子供自身の自主的交流を促進しているほか、「水沢方式成人式」のプランナーとして全国の成人式にも影響を与えている。	岩手県
14	個人	岩本 郁子(65歳)	茨城県国際交流協会において、県内留学生を「親善大使」に任命し、学校へ派遣して各国事情を紹介する事業の立ち上げに尽力。また、外国人相談センターにおける対応言語を9か国に増やし、弁護士とも連携して高度な相談にも対応するなど茨城県内の国際化進展に貢献している。	茨城県
15	個人	大塚 フミ子(74歳)	鍵っ子のために自宅を「遊び塾」として開放し、子供たちの心に寄り添った活動を継続している。また、「心の相談員」、「適応指導教室相談員」として、様々な困難を有する子供たちの支援に尽力し、全国からも相談者が訪れている。	熊本県

平成27年度「子供と家族・若者応援団表彰」受賞者

《内閣府特命担当大臣表彰 15件》「子育て・家族支援部門」

	区分	受賞者	活動内容	推薦団体
1	企業	株式会社福井新聞社	配偶者の出産前後に特別有給休暇(3日)、子の看護休暇制度(半日単位での取得可)など、育児・介護休業法にはない独自の制度を導入し、仕事と家庭が両立しやすい職場環境を整備している。また、地域とも連携し、子育て活動の普及啓発にも貢献している。	福井県
2	企業	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社	個々の社員に合わせ、働きやすい環境を創出し、個々の能力を最大限に発揮することにつなげている。また、NPO法人や地元自治体等と連携し、地域の育児休業中の女性や、仕事復帰を目指す女性を対象にしたカウンセリングなど支援を展開している。	兵庫県
3	団体	育児ネットめむろ	集団託児や一時託児、また町の育児サポートシステム「ファミリーサポート」の運営などにより、保護者のニーズにきめ細かく対応し、町内の託児環境の充実に貢献している。また、「めむろパスイッチ」事業は、「父親にとっても子育てしやすいまち」を目指し、様々な父親の育児支援活動を展開している。	北海道
4	団体	特定非営利活動法人すきっぷ	地域の子供が放課後に安心して過ごせる場として、工作や自然体験、学習支援などを行う「遊びの夢教室」を十勝管内全域で実施している。異年齢交流を通して社会のルールを学び、コミュニケーション能力を養うための取組を行うなど、地域の放課後児童の安全と健全育成に貢献している。	北海道
5	団体	特定非営利活動法人はちのへ未来ネット	子供と親が希望と安心感を持って暮らせる地域づくりを目指し、子供たちを楽しませる「はちのへ子どもフェスタ」の開催、また、子供と大人が楽しみながら交流できる拠点として機能する、子育て集いの広場「こどもはっち」の運営等を展開し、他団体の牽引的役割を果たしている。	青森県
6	団体	特定非営利活動法人たんぽぽクラブ	放課後等デイサービス事業や日中一時支援事業等の障害福祉サービス事業を展開し、障害児の家庭支援を行っている。相談事業、地域交流事業としての夏祭りや研修会も行き、地域の福祉向上に貢献している。	岩手県
7	団体	医療法人久盛会	従業員が子育て中も安心して働けるよう子の看護休暇や育児短時間勤務など諸制度の拡充、独自の「育児休業取得推進手当」の導入を行っているほか、次世代法のくるみん認定を取得しているなど、仕事と育児・家庭の両立支援に職場全体で取り組む企業のモデルとなっている。	秋田県

	区分	受賞者	活動内容	推薦団体
8	団体	特定非営利活動法人あっとほーむ	保育園へのお迎え付き夜間保育事業を通して、特に医療・福祉系のシフト制で働く女性の仕事と子育ての両立の実現に寄与している。更に、この夜間保育事業の他地域展開を直営やフランチャイズではなく、団体のノウハウを提供する起業支援という形で行っている。	神奈川県
9	団体	特定非営利活動法人とよかわ子育てネット	「つどいの広場」事業を始めとして、地域に根差した子育て情報の提供や、地域の人々をつなげる場づくりなど、子育てしやすいまちづくりに関する各種事業に取り組んでいる。NPO法人として、行政・企業とも積極的に連携し、効果的な活動を実施している。	愛知県
10	団体	一般財団法人食品分析開発センターS UNATEC	ライフステージの変化に応じて勤務体系が選択できる「職群転換」、家庭の事情で退職した従業員を再雇用する「ジョブリターン制度」など、独自の制度を導入し、仕事と家庭の両立を推進している。また、平成27年1月より事業所内託児所を開所し、従業員が安心して働き続けられる職場環境を実現している。	三重県
11	団体	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立母子保健総合医療センターボランティア会	病院ボランティア活動を通じ、病気や障害を抱えた子供や家族に対する支援を行っている。患部を覆う帽子、左右の袖の長さが異なる上着など市販されていない服や小物の制作、入院や通院患者さんの兄弟姉妹の預かりといったニーズに沿ったきめ細やかな支援を行っている。	大阪府
12	団体	久万高原町つどいの広場マザーグースの会	子育て支援拠点「つどいの広場」を運営し、乳幼児同士の交流の場を設けるほか、子育てをする親の支援も行っている。町内の利用者のほか、山間地であるにもかかわらず近隣地域からの利用者もいるなど、乳幼児の遊び場、親子の居場所として広域なニーズに応えている。	愛媛県
13	団体	医療法人財団足立病院マミーズスクエア	病院を母体とし、女性とその家族のトータルケアを行っている。出産前の妊婦及び家族を対象に、出産後の生活イメージを持つことを目的とした「赤ちゃんのお世話教室」、「パパジユク」を開催している他、子育て中の親子のための「つどいの広場」も運営し、子育て世帯を応援している。	京都市
14	団体	特定非営利活動法人アレルギーネットワーク京都ぴいちゃんねっと	食物アレルギーの子供と保護者のQOL向上を目的として、常設の居場所を提供している。当事者親子を対象とする医師や栄養士による講座の実施、当事者親子同士の交流の場の提供、また、子供向けイベントを行っている。	京都市
15	個人	高田 修(57歳)	小児科医師として地域の小児医療に尽力する傍ら、小学校や幼稚園、保育所、特別支援学校の校医を務めている。障害のある児童生徒の健康管理、健康相談のみならず、医師として学校行事への参加、不登校児や保護者への相談対応など献身的な支援を行っている。	宮城県

平成27年度「チャイルド・ユースサポート章」受章者

「子供・若者を育成支援する活動」 16件

	区分	受章者	活動内容	推薦団体
1	団体	特定非営利活動法人ファンスポーツ一関	総合型地域スポーツクラブを運営し、幼児、小・中学生、青少年、社会人など多世代を対象に、スポーツ事業(特にフットサル関連)や、ソーシャルリレーション事業を展開している。また、世代・地域間交流による地域活性化、地域コミュニティ形成、地域人材の育成にも貢献している。	岩手県
2	団体	Am遊's	親子同士が共同作業を通じて楽しみながら交流できる場としてお菓子の家づくりなどのユニークな取組を展開している。また、市内外で行われるお祭りやイベントに併せて、地域に根差した形で、多くの子供たちに多様な体験・交流の場を提供している。	山形県
3	団体	我孫子市国際交流協会	小・中学校に通学する日本語を理解することが困難な帰国・外国人児童生徒に対する支援を行っている。同協会がパイロット事業として支援を開始し、現在では、教育委員会、小中学校とともに定期的に会議を開き、計画的に日本語教育の支援を行っている。	千葉県
4	団体	キラット・ジュニア防犯隊	小・中学生から構成される防犯隊として、地域安全活動を実施している。同隊に参加することにより、子供たちにとって学年や学区を超えた人間交流の場となるほか、大人との接触により社会性を身につけるなど、青少年の健全育成に貢献している。	千葉県
5	団体	特定非営利活動法人こころの相談室いちばら	カウンセリング及びひきこもり自立支援において、広く市民から高い評価を受けている。医師やカウンセラーなどの専門家や経験豊かな相談員が在籍しており、質の高いサポートを提供している。地道な活動が認められ、年々利用者が増加しており、近隣地域からの利用者も多い。	千葉県
6	団体	特定非営利活動法人日本フロアホッケー連盟	知的障害者のスポーツとして始まったフロアホッケーを誰もが楽しめる「ユニバーサルスポーツ」として全国へ普及させ、障害者の社会参加促進、地域コミュニティの再生などに貢献している。現在、長野県、山形県、熊本県に支部があり、今後は東京都や新潟県、大分県等で支部設立を予定している。	長野県
7	団体	東濃西部少年警察ボランティア協議会	非行歴を有する少年などの立ち直り支援・居場所づくり活動として、よさこいソーラン踊りチームを結成し、練習を通じて少年が抱えている問題や悩みを聞くなどの相談活動に繋げている。地域との繋がりを実感できる効果があり、少年の非行防止・健全育成に貢献している。	岐阜県
8	団体	大阪府食生活改善連絡協議会	地域に根差したボランティア活動として食生活改善活動を展開し、府民の食生活改善に貢献している。毎年8月には子供を対象とした啓発活動や子育て中の保護者を対象とした調理指導などの出前講座を定期的を実施し、食生活の重要性の普及、地域の食文化の継承にも尽力している。	大阪府

	区分	受章者	活動内容	推薦団体
9	団体	不登校を考える親の会ほっとそつとmama	不登校を経験した子供がいる親などが集まり不登校や引きこもり等に関する情報を交換し、子供たちの人権が尊重され、自分らしく生きられる環境づくりに努めている。不登校等に関する理解を深める活動や、いじめ撲滅に関する活動を行うなど、青少年の健全育成に貢献している。	愛媛県
10	団体	大阪市子ども会育成連合協議会	異年齢の仲間との交流活動を通じて子供の生きる力を育み、地域の子ども会活動の進展に尽力している。区役所や学校等と連携し地域に密着した文化・体育活動などを実施しているほか、全市レベルでの「こどもカーニバル」を実施し、広く子供たちを対象に健全育成活動を展開している。	大阪市
11	個人	丸藤 競(51歳)	まちづくりセンターのセンター長として、まちづくり、観光、福祉、防災など多岐に渡って活動している。特に学生等若い人材を効果的に活用し、若者の社会参加を促しているほか、活動から得られたネットワークを活用し、NPO法人への支援を行うなど地域の間支援者としても貢献している。	北海道
12	個人	大鹿 良夫(72歳)	一般社団法人埼玉県子ども会連合会の会長として、「彩の国21世紀郷土かるた県大会」の普及を通じて、仲間づくりと郷土愛に溢れた子供の育成を図っている。子ども会の活性化等を通じて、子供たちの健やかな成長のために尽力しているほか、地域におけるリーダー育成にも取り組んでいる。	埼玉県
13	個人	森 正樹(47歳)	埼玉県内の小中学校及び保育所等を訪問し研修を行い、教師や保育士に発達障害等のある子どもたちへの理解促進や支援に関する専門的助言(コンサルテーション)を行うとともに、地域での講演活動を継続的に実施している。	埼玉県
14	個人	小林 幸治(37歳)	少年補導員、サイバー少年補導員として、インターネットに起因する少年の犯罪被害の防止のため、電子メールによる声掛け等を多数実施するなど、多くの青少年の健全育成、犯罪被害防止に資する活動に取り組んでいる。	熊本県
15	個人	中山 良明(74歳)	長年にわたり、地域の子ども会の第一人者として、青少年活動に取り組んでいる。「地域の子どもは地域で育む」「子どもの手による子ども会」の理念のもと、中・高生のジュニア・シニアリーダーの育成及び指導者育成者のレベルアップに尽力している。	大阪市
16	個人	蒲原 敏博(76歳)	長年にわたり、子ども会活動を通じた青少年の健全育成に貢献している。被爆地・広島の子ども会役員として、平和記念公園の清掃、長崎市の子ども会と平和学習や交流活動を行う「広島・長崎市児童生徒平和のつどい」の開催などに取り組んでいる。	広島市

平成27年度「チャイルド・ユースサポート章」受章者

「子育てと子育てを担う家族を支援する活動」 8件

	区分	受章者	活動内容	推薦団体
1	企業	株式会社オーシスマップ	育児施設や柔軟な勤務体制、在宅勤務の導入などにより、自社の子育て支援に取り組んでいる。また、社員のレクリエーション活動を促進するなどワークライフバランスの向上にも取り組んでいる。この他、地域住民に体育館やグラウンドなども提供している。	兵庫県
2	団体	特定非営利活動法人親がめ	神奈川区や連合町内会、地域住民と連携し、親子の居場所・交流拠点の「すくすくかめっ子・親子のたまり場」を展開し、子育てを温かく見守るまちづくり・風土づくりに尽力している。町内会館や空き店舗などを活用し、「すくすくかめっ子・親子のたまり場」は区内42か所に広がっている。	神奈川県
3	団体	育児サークルアンファン広場	地域の商業施設内で、買い物に来ている親子が気軽に立ち寄ることができる育児サロンを実施している。育児相談やリトミック、クリスマスコンサート、離乳食の講座などの様々なプログラムの提供を通じて、育児中の親の不安解消に寄与するとともに、商業施設の活性化にも貢献している。	大阪府
4	団体	周南地域子育て支援ネットワーク虹色ねっと	市民主導による子育て支援活動の活性化に取り組んでいる。子育て支援団体、子育て家庭、行政機関をつなぐ架け橋としてネットワークを構築し、子育て関連情報の円滑な共有化を実現。定例会や交流会の活動を通じ、子育て力の向上に貢献している。	山口県
5	団体	ヒュッテ桂谷ランプの宿	里山での出会いの場づくりによる結婚支援や里山の再生活動、子育て支援など、里山を中心に様々な活動を展開している。県土の7割を占める中山間地域での婚活イベントとしてモデルとなる取組である。このほか、地域の子供たちの自然とのふれあいや里山体験の取組にも貢献している。	山口県
6	団体	特定非営利活動法人マイシアター高松	設立以来43年間に渡り、子供と大人を対象とした舞台鑑賞活動や体験活動、居場所づくり事業など、幅広い年齢層を対象とした活動を展開、子供と大人が豊かに育ちあう地域づくりに取り組んでいる。子供の成長を通じて長いスパンで関わりを持つことで、継続的な支援を行っている。	香川県
7	団体	泉大津市教育支援センター家庭教育支援チーム「スマイルサポートチーム」	学校や教育委員会・関係機関と連携し、地域で孤立しがちであったり、仕事が忙しかったり、様々な課題を抱える保護者への訪問型家庭教育支援を行っている。家庭教育支援サポーターは、保護者や子供の時間を優先した支援を行い、保護者をエンパワーメントし、学校と家庭のつなぎ役を果たしている。	文部科学省
8	個人	矢野 喜美已(73歳)	草津市子育て支援センターの子育てサポーターとして、平成14年から第一期生として長年に渡って熱心に活動している。親子が安心して過ごせるようなあたたかい心配り、適切な子育てアドバイスをを行うなど、他のサポーターのお手本となっている。	滋賀県